

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 中国ブロック支部</p>		<p>発行人:田妻 進 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院 総合内科・総合診療科 Tel&amp;Fax:081-82-257-5461</p>
---	------------------------------------	--	---

## 「第1回中国ブロック専攻医交流会」開催しました！

2017年の専攻医部会におけるアンケートでは、約8割の専攻医は専攻医同士や指導医とのつながりを求めているという結果が出ています。現在、中国ブロックではブロック支部学術集会が年1回しかなく、中国ブロックの専攻医からは交流する機会が増えて欲しいという意見が出ていました。そこで、中国ブロック専攻医の交流会をこの度企画しましたので報告します。

あいにく台風襲来の前日であり、全参加者で名と当初の予定と比べて減ってしまいましたが、悪天候の中も多くの専攻医の先生が福山までやってきて下さいました！

### 概要

【日時】2018年9月29日 【場所】福山医療センター

#### 【内容】

- ・企画①『臨床推論』
- ・企画②『どうしたらいいの？地域健康増進のポートフォリオ』
- ・企画③『ようこそ先輩！課外授業 ～ぶっちゃけどうなの専攻医～』
- ・懇親会（台風のため非公式に変更しました）

#### 講師陣

太田茂医師（紫苑会 藤井病院 総合内科）

松本翔子医師（宇部興産中央病院 一般内科・総合診療科/家庭医療専門医）

櫻井重久医師（鳥取市立病院/家庭医療専門医）

丸山淳也医師（岡山家庭医療センター/家庭医療専門医）

玉野井徹彦医師（医療生活協同組合 健文会 生協小野田診療所/家庭医療専門医）

企画にあたり多くの先生方にご協力ご指導ご支援いただき厚く御礼申し上げます。交流を主な目的としておりましたが、各講義の内容も充実しており実りの多い会になったと思っております。来年度以降も継続していく予定としておりますので専攻医の先生方ご参加お待ちしております！

#### 企画代表：

福山地区家庭医療後期研修プログラム 専攻医3年目 平岩千尋（医療法人 紫苑会 藤井病院）

山口大学総合診療プログラム 専攻医2年目 下川純希



文責 藤井病院 平岩千尋 (福山地区後期研修プログラム)

## m-HANDS-FDF 2018 第2回の報告書

中国ブロックでの指導医講養成の報告

松坂内科医院 松坂英樹

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

【m-HANDS-FDF】(modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship)

JPCA-ML などで募集して中国地方の指導医6名が全5回のコースに参加されています。6名はそれぞれ3人ずつのチームを作り、模擬ティーチングなど協同して行ってもらいます。以下に全体の概要と実際参加された指導医からの報告の一部を掲載しますのでご一読ください。2019年度も同じような枠組みを予定しています、ご興味のある方はご相談下さい。

---

<目的>

中国ブロックの指導医養成

<対象>

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を終了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

**Core Competence : Adult Educator(成人学習支援者)**

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる

---

## m-HANDS-FDF 2018 第2回の報告書

1日目

- ・**学習者評価を計画しよう 特別講師 松山泰先生(自治医科大学医学教育センター)**

まず、カリキュラムを設計する上では、学習課題をデザインしたあとは、学習内容を決めるより先に評価方法を作成することが求められる。つまり、評価が学習やカリキュラムを左右すると言っても過言ではないと言えるだろう。また、評価で最上位とされる Does を評価することが重要のように考えがちであるが、Does 以下のレベルの評価も同様に重要であるとのことであった。それらのレベルに応じた評価項目を適切な方法で、評価疲れしない程度に評価をすることが重要であることを知った。

- ・**模擬ティーチング(実際に学習者を集めて教育計画の実施・振り返り)**

福島生協病院の初期研修医有志の協力を得て、模擬ティーチングのセッションを行いました。フェローは3人ずつ2チームに分かれ、事前に指導内容の計画をし、当日は25分間の指導を初期研修医に実際に行い、研修医や他の先生方からのフィードバックを頂きました。事前計画の際に目標設定をより明確にする必要があることを学びました。また、事前の計画どおりにティーチングが進まないこともあり、プランBを用意しておく必要も感じました。

## 2日目

### ・DTE

Difficult Teaching Encounterについて、常に対象が gifted adult である可能性について考慮することが重要であり、問題解決に関してアルゴリズムを参照にしていくこと、更に学習者自身の問題であった場合にどこに問題があるのかを考えた。グループ内の自分たちの経験をシェアし、それに対しての対応についてもディスカッションした。また、そもそも起こさせない為に1次・2次・3次予防について学んだ。

### ・指導のビデオレビュー

参加者の日常での指導の一コマを撮影し5分程度に編集したものを、他の受講者、講師達とともに視聴し振り返り、視聴者のフィードバックをもらうセッション。りつつこんだ実践的なフィードバックが可能である点がポイントいい所は他の方法では体験できないリアルさで自分の悪い所を客観的に見ることが可能な点。悪い所は、みんなの前で悪い所を挙げられて指導者が精神的なダメージを受ける可能性がある点。ビデオレビューの長所、短所を理解したうえで、リスクマネジメントをしながら効果的にビデオレビューを指導者への教育ツールとして利用すべきである。

### ・リーダーシップ

リーダーシップについて動画を見ながら、リーダーシップについて議論を行った。1つ目の動画（裸で踊る男とそれに追従して踊り始める人々）では、何が（誰が）最初に踊り始めた男をリーダーたらしめたのか、リーダーとなった男は何を（誰を）大切にすべきなのか等、動画を見た感想を述べながら議論した。2つ目の動画はある運動部を話題にしたアニメの1話を分割して見ながら、価値観の衝突した集団（チーム？）の中で発揮すべきリーダーシップについて議論した。1本目の動画のように面白おかしくも1つの運動が発生する過程やその際に求められる要因を考えることは喜々とするものがあったが、逆に2本目の動画は価値観が衝突し、チームが分裂していく危機的状況にあり、その中でどうすべきか。周囲を導くにあたって求められるリーダーの判断、その判断によって生じるメリット・デメリット、そもそも周囲から求められるリーダーの議題とは何か。とても苦しい討論だったが、医療現場でも大なり小なり生じる課題であり、暗黙下でリーダーシップを求められる医師として考えさせられるものだった。

（今後の予定）

第3回 in 山口 12月8日（土）－9日（日）

第4回 in 岡山 1月19日（土）－20日（日）

第5回 in 岡山 調整中

見学も可能ですので興味がありましたら、ぜひご連絡ください。

質問等ありましたら、[hdk@matsuzaka@gmail.com](mailto:hdk@matsuzaka@gmail.com) までお問い合わせください。

集合写真



当日の写真



#### 第4回 総合診療セミナー in Hiroshima を開催しました

本年度も広島にて総合診療セミナーを開催しました。各病院より診断に苦慮した症例や勉強になる症例報告をしていただき、キーノートレクチャーとして丸太町病院の上田剛士先生、特別講演として日本専門医機構の寺本民生理事長よりお話をいただきました。

日時：平成30年10月13日（土） 15時から17時

場所：ホテルグランヴィア広島（広島駅）

##### 【第1部】

座長：広島市民病院 副院長 岡本良一先生、広島西医療センター 総合診療科 生田卓也先生

15:05-15:15 「島の働き者の女性たちを襲ったモンスター」 呉医療センター 総合診療科 辻直樹先生

15:15-15:25 「診断に苦慮した四肢麻痺の1例」 庄原赤十字病院 総合診療科 橋本直樹先生

15:25-15:35 「元気な人の腹痛」 吉島病院 内科 友田真司先生

15:35-15:45 「塩ハイチュウにはご用心」 広島大学病院 初期臨床研修医 佐々井隆真先生

##### 【第2部】

座長：呉医療センター 総合診療科 中村浩士先生、藤井病院 内科 太田茂先生

15:50-16:00 「臍頭部近傍に腫瘤を認めた不明熱の1例」 広島市民病院 総合診療科 法西美果先生

16:00-16:10 「難治性中耳炎と繰り返す肺炎の1例」 広島西医療センター 総合診療科 伊藤やよいこ先生

16:10-16:20 「四肢麻痺で救急搬送された高齢女性の1例」 安佐市民病院 初期臨床研修医 村上欣先生

キーノートレクチャー：16:25-16:55

座長：JA 広島総合病院 総合診療科 主任部長 溝岡雅文先生

「総合診療医が知っておきたいER トリアージスキル」

洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長 上田剛士先生

特別講演：17:00-18:00

座長：広島大学病院 総合内科・総合診療科 教授 田妻進先生

一般社団法人 日本専門医機構 理事長 寺本民生先生